

研究職員(パーマナント職員(テニユア型任期付研究併設型))公募一覧表(令和8年10月)

公募番号	試験研究機関名	配属研究領域	待遇	任期	研究課題名	研究内容	応募条件
P1	森林総合研究所	野生動物研究領域	研究職員 国立研究開発法人森林研究・整備機構職員給与規程に基づき決定	パーマナント(テニユア型任期付併設型研究員の場合は任期3年※)	景観生態学アプローチによる野生動物と人との軋轢の低減手法の開発	人口縮小の中、野生動物の都市への出没や人身事故等の野生動物と人間との軋轢は増加し、深刻な社会問題となっている。このような状況下で、景観変化が野生動物の行動や生態に与える影響を解明することにより、クマ、シカ等の野生動物と人との軋轢を低減させる手法を開発する。	①採用時に博士の学位以上を有する者 ②野生動物について景観生態学的手法を用いた研究実績を有する者 ③勤務地:本所(つくば市) ④全国規模の転勤が可能な者
P2	森林総合研究所	北海道支所	研究職員 国立研究開発法人森林研究・整備機構職員給与規程に基づき決定	パーマナント(テニユア型任期付併設型研究員の場合は任期3年※)	北方樹種の環境適応特性に基づく森林の更新・育成技術の開発	北方樹種の環境適応特性をリモートセンシング画像解析や集団ゲノム解析の手法を用いて生態学・遺伝学的に解明し、森林の更新・育成技術を開発する。	①採用時に修士の学位以上を有する者 ②生態学または遺伝学の研究実績を有する者。 ③勤務地:北海道支所(札幌市) ④採用された場合、全国規模の転勤が可能な者

※ 本募集はパーマナント採用を基本にしていますが、パーマナント採用には至らないが一定以上の業績等を有すると認められる者に対して、当所からテニユア型任期付による採用を提示する場合があります。